

平成15年度環境保全活動報告書

大津電機工業株式会社

目次

1. ISO14001
環境方針
2. 環境保全活動一覧表
(2003/4～2004/3迄)
3. 環境保全活動状況
 - ①水質測定の実施
 - ②悪臭測定の実施
 - ③騒音測定の実施
 - ④振動測定の実施
4. 緊急事態対応訓練実施状況

1. 環境方針

大津電機工業株式会社本社工場

環境方針

— 環境理念 —

大津電機工業株式会社本社工場は、自然に恵まれた美しい琵琶湖の西岸で電気自動車及び建築部材の表面処理を事業とし、立地条件及びその事業活動から、自然環境・地域社会との調和を図り、地球環境の保全につとめ、豊かな社会と環境の実現に貢献します。

— 行動指針 —

1. 環境方針を達成するために、技術的・経済的に可能な範囲で目的・目標を設定し、環境管理の継続的改善と環境汚染の未然防止を図る。
2. 環境関連の法律・条例及びその他の要求事項を遵守し、可能な限り自主管理基準を定め環境管理の向上に努める。
3. 事業活動の全般を通じて、省エネルギー、省資源／リサイクル化等資源の有効活用ならびに環境負荷物質の低減に努める。
 - (1) 省エネルギーのために電力・ブタンガスの使用量の削減
 - (2) 省資源化のために紙・梱包材料などの使用量の削減
 - (3) 生産過程で使用する材料(塗料・溶剤)の使用量の削減
 - (4) 生産活動に伴う廃棄物の削減とリサイクル化
4. 環境方針を達成するために環境目的・目標を設定し、全従業員に周知し、実行すると共に社会の要請や監査等によりその適合の枠組を定期的に見直す。
5. この環境方針は全従業員に周知するとともに、社外に公開する。

平成14年2月4日
大津電機工業株式会社 本社工場
代表取締役社長 山口 保久

2. 環境保全活動一覧表

環境目標		計画内容
エネルギー・資源削減		
電力		照明関係の不要時の消灯の実施 自然光の有効活用 不要照明の蛍光灯の撤去
ブタンガス		乾燥炉点火時間と温度の管理の実施 設備点検・清掃等の実施 乾燥設備改造の実施
紙	用紙	社内LANの整備活用 両面コピーの徹底推進の実施 裏紙使用の徹底等の実施
	梱包	紙から再利用出来る物へ変更する ダンボール等の再利用の実施
材料の削減		
塗料 溶剤		廃シンナー等のリサイクル化 不良率の削減の実施 塗装設備の点検清掃の実施 塗装治具の定期点検整備の実施
廃棄物の削減		
汚泥		水洗槽の稼働時間と給水量管理の実施
廃プラ		分別排出の徹底の実施 ゴミからリサイクルへの推進 用紙類のリサイクル化の実施

環境施設管理	管理項目	別紙参照
工程排水	水質	月1回測定／年1回測定
塗装ブース・乾燥炉等	悪臭	年1回測定
コンプレッサー	騒音/振動	年1回測定

緊急事態	想定内容
塗料・溶剤	漏洩
ガス貯蔵庫	配管の破損
工程排水	濃度不良
薬品保管	漏洩

3. 環境保全活動状況

水質測定 (年1回の測定実施)

測定項目	測定値	規制基準値
N-ヘキサン抽出物質含有量	<0.5mg/l	5
溶解性マンガン含有量	<0.05mg/l	10
フェノール類	<0.01mg/l	1
ジクロロメタン	<0.02mg/l	0.2

(* 水質測定は、PH、COD、SS、T-N、T-P、Znは1回/月
T-Cr、BODは1回/2ヶ月実施しています。)

悪臭測定 (年1回の測定実施)

測定項目	測定値	自主基準値
トルエン	<0.1ppm	0.25
キシレン	<0.1ppm	0.53
酢酸エチル	<0.1ppm	1.5
メチルイソブチルケトン	<0.1ppm	0.47

騒音測定 (年1回の測定実施)

騒音レベル(南側)	測定値	自主基準値
朝 (7時)	48dB	60dB
昼間(3時)	49dB	65dB
夕 (21時)	48dB	65dB

騒音レベル(東側)	測定値	自主基準値
朝 (7時)	49dB	60dB
昼間(3時)	60dB	65dB
夕 (21時)	49dB	65dB

振動測定 (年1回の測定実施)

振動レベル(南側)	測定値	自主基準値
昼間(3時)	33dB	60dB

振動レベル(東側)	測定値	自主基準値
昼間(3時)	41dB	60dB

4. 緊急事態対応訓練実施状況

想定される緊急事態

1. 危険物等の運搬時の横転流出防止 訓練
15名 15年6月26日実施
2. ブタンガス貯蔵所タンクの枝配管接合部からの漏れ 訓練
10名 15年9月12日実施
3. 薬品等の保管庫等の漏洩 訓練
8名 15年12月23日実施
4. 工程排水処理からのpH異常処理水、白濁水の流出防止 訓練
8名 16年2月27日実施